



EPA介護福祉士候補生と共に歩んで
～ 合格までのプロセス ～

茨城県のご紹介



施設概要

社会福祉法人 泰仁会

医療法人 江隆会

理事長 江畑 隆夫

〒315-0165 茨城県石岡市小倉442-1

TEL 0299-43-0811 FAX 0299-43-0812

URL <http://www.taijinkai.or.jp/>



このマークは、泰仁会が人の手に優しく
包み込まれて若葉のように伸びる
(末永く繁栄する)

そして、常にご利用者を暖かく包み込み、
いつまでも安心できるサービスの提供を
していくという意味が込められています。



法人の事業展開

平成7年1月9日 平成7年10月1日	法人認可 特別養護老人ホームやさと(定員50名) ショートステイやさと(定員12名) 軽費老人ホームケアハウスやさと(定員15名) デイサービスセンターやさと(定員30名) 石岡市委託在宅介護支援センターやさと
平成12年 4月1日 平成14年10月20日 平成15年11月1日	居宅介護支援事業所ケアプランセンターやさと グループホームさわらび(定員18名) 事業所内託児所こぎつねの郷(定員17名)
平成16年11月1日	特別養護老人ホーム桜の郷元気(定員70名) ショートステイ桜の郷元気(定員10名) デイサービス桜の郷元気(定員30名) 居宅介護支援事業所ケアプランセンター
平成19年5月1日	小規模多機能型居宅介護事業所国府あおい (定員25名)



法人の理念

- 1、 泰仁会は福祉サービスを通して地域社会に貢献いたします。
- 2、 泰仁会は福祉サービスを通してご利用者のためご満足いくサービスの提供をいたします。
- 3、 泰仁会は地域の社会福祉向上のため永続発展いたします。
- 4、 泰仁会の職員はご利用者のニーズを大切にしご満足を得るために知識・技術・人間性を研鑽してゆきます。
- 5、 泰仁会は職員の生活を保障し健全な職場作りをします。



はたらきやすい職場づくり

■ ワークライフバランスの取り組み

- ・託児所の設置
- ・子育て支援休暇
- ・特別有給休暇
- ・産前産後休暇
- ・育児休業(男性職員も含む)
- ・育児短時間勤務
- ・子の看護休暇
- ・介護休業
- ・介護休暇
- ・年次有給休暇取得促進

など



くるみんマークの取得



なぜEPA候補生を受け入れたのか

- 日本人労働力が減少することによるマンパワー不足が懸念される。
- 将来を見通して外国人育成を行ない、今後活躍できる人財の育成と、そのノウハウを身につけるため。



受け入れにあたっての準備

- ① 研修担当者・計画の決定
- ② インドネシアに関する勉強会の実施
- ③ 宗教・生活習慣への配慮



学習支援体制

日本語 学習

- ・ 施設長・相談員
- ・ 日本語ボランティア団体

試験対策 学習

- ・ 施設長・相談員
- ・ 外語学院(日本語学校)

介護技術

- ・ 介護主任、介護職員
- ・ 看護師



一年目の取り組み

日本語 学習

- ・ 事業計画・就業規則
- ・ 教材を使用した日本語の基礎学習
- ・ 日本語ボランティア団体への参加

試験対策 学習

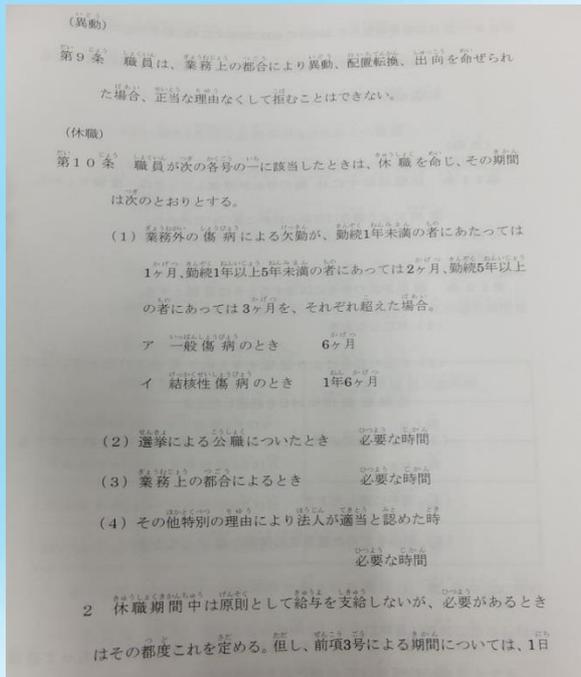
- ・ 基本的な介護用語

介護技術

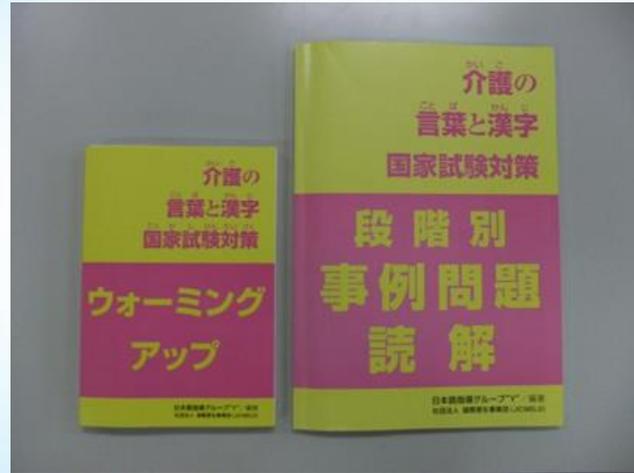
- ・ マンツーマンによる3大介護の指導
- ・ 日本の高齢者の特性



一年目の取り組み



(ルビを付けた就業規則)



主に使用した教材
「ウォーミングアップ」
「段階別事例問題読解」



学習風景



二年目の取り組み

日本語 学習

- ・ 教材を使用した日本語の基礎学習
- ・ 国際厚生事業団から送られる添削問題の実施

試験対策 学習

- ・ 専門用語の習得
- ・ 外語学院の活用
- ・ 国際厚生事業団が開催する研修会への参加

介護技術

- ・ ご利用者個々に合わせた介護技術の習得
- ・ ご利用者との積極的なコミュニケーション



二年目の取り組み



ティ・ビー・シー外語学院での
学習



夜勤中の自己学習



三年目の取り組み

日本語 学習

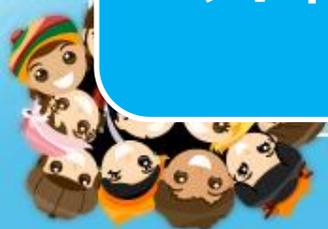
- ・ 国際厚生事業団から送られてくる添削問題の実施
- ・ 日本語ボランティア団体への参加

試験対策 学習

- ・ 外語学院での試験対策指導
- ・ 模擬問題集
- ・ 国際厚生事業団からの模擬問題や集合研修への参加

介護技術

- ・ 介護技術講習参加による介護技術試験の免除



四年目の取り組み

日本語 学習

- ・ 日本語ボランティア団体への参加

試験対策 学習

- ・ 外語学院での模擬問題集の徹底指導
- ・ 宿題の提示
- ・ 国際厚生事業団からの模擬問題や集合研修への参加

介護技術

- ・ 介護現場での専門的な応用の指導



試験の結果

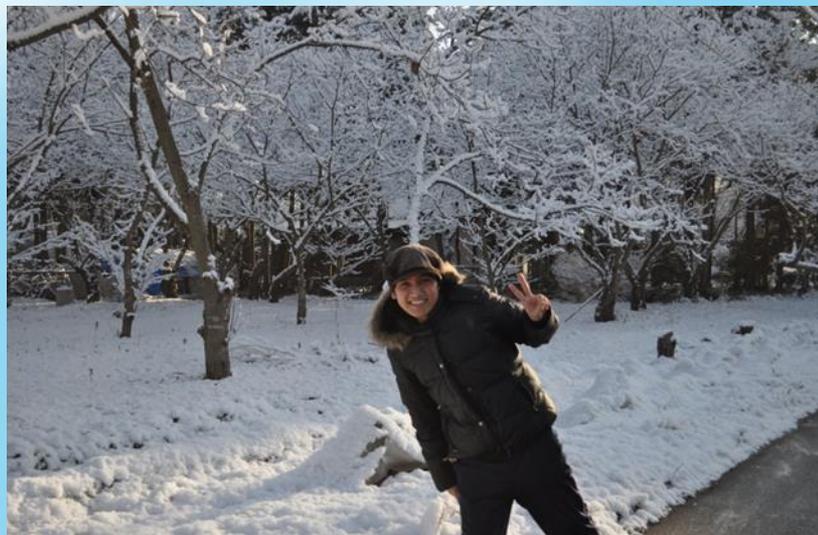
科目	23年度	24年度	科目	23年度	24年度
人間の尊厳と自立	2点	1点	発達と老化の理解	3点	5点
人間関係とコミュニケーション	1点	1点	認知症の理解	3点	10点
社会の理解	8点	6点	障害の理解	6点	5点
介護の基本	9点	10点	こころとからだのしくみ	4点	7点
コミュニケーション技術	6点	8点	総合問題	9点	6点
生活支援技術	14点	12点			
介護の過程	6点	5点	合計	71点	76点

※解答速報を基にした採点結果



4年間を振り返って

- 基本的な日本語学習が不十分だった
- モチベーション維持への取り組みのあり方
- 体調の管理
(日常生活の把握など)



受け入れてよかったこと

①施設入居者へのよい刺激になった

→「外国人」ではなくひとりの「人」としての関係

②職員のモチベーション向上

→がんばっている姿に感銘と同時に発奮！

③施設内での研修体制の新しい可能性の発見

→二人の成長過程を振り返り、新たな気づきが…



受け入れてよかったこと

④国際色が豊かに

→伝統芸能や食事に触れる機会が増えた

⑤日本のよさの再認識

→日本の「ことば」と「文化」の美しさを共に感じ
られた



ご清聴ありがとうございました

